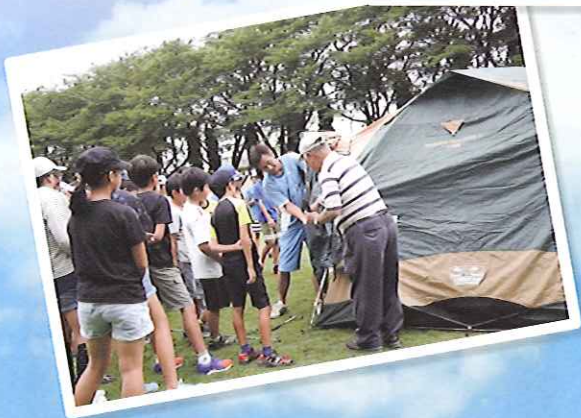


子ども会 栃木

2018.2
第11号



CONTENTS (ご案内)

- | | | | |
|------------------|---|---------------------------|-----|
| ・会長挨拶 | 1 | ・子ども会活動報告 | 3～7 |
| ・県子連事業報告 | 1 | ・安全共済会 Q&A | 7 |
| ・インフォメーション | 2 | 表紙の写真は、県内各地域の子ども会活動の様子です。 | |

「チャレンジ」

一般社団法人 栃木県子ども会連合会
会長 内藤 進



県下133,000人の会員の皆様こんにちは。

本年度も宜しくお願い申し上げます。

平成30年度は本県で、「第51回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会」が、9月30日～10月1日(日曜～月曜)の日程で「りんどう湖ロイヤルホテル」で開催されます。

各市町子連の皆様と着々と準備を進め、2月現在で16回の実行委員会が開催されました。実行委員長を務める、鹿沼市子連会長でもある杵子実行委員長の下、精力的に活動を展開しています。

さて、本年度は子ども達に対して、体験活動の場を今まで以上に増やすことができれば、楽しいだろうと考えています。

小、中学生時代に様々な体験活動を経験することにより、協力することを学び、自立心を養い、相手を思いやる心を育て、一人の人間として成長して行くのであろうことを想像して、私は楽しくなっています。

市町子連の皆さんと共に、体験活動の場を増やせて行けたらと思います。

昨年私は、障害者スポーツの初級指導員の資格を取得しました。スポーツを通して障害者の皆さんと関わりたいと考えたからです。

座学、実技を研修する中で、障害者の皆さんとも長時間関わり、様々なことを学びました。本年は中級指導員資格取得を目指して、障害者スポーツに関わって行きたいと考えています。

そして、総合型地域スポーツ関係のNPO法人も立ち上げました。そこでは財務処理の重要性を実感しました。その中で、「ファンドレイジング」を知りました。NPOが活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為を指すものです。この内容を、県子連活動資金の調達の一つとして、取り入れたいと考えています。

本年も体験し、そして学び、新しい世界に入って行きたいと考えています。

これらは全て子ども会育成会活動と、私にとってもプラスになると信じています。

本年もチャレンジです。

内藤進会長 栃木県青少年健全育成成功労者表彰

表彰式：平成29年11月10日(金) 県公館にて

この度、栃木県教育委員会生涯学習課様のご推薦を賜り、県知事表彰を拝受いたしました。

これもひとえに多くの皆様のご指導ご支援の賜物と感謝申し上げます。この励ましを契機に、今後も微力ながら、より一層青少年育成に力の限りを尽くして邁進する所存です。

どうぞ今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

子ども会安全啓発(KYT) 初級指導者養成講習会開催

6月18日(日)10時～16時とちぎ青少年センターにて35名が受講し、全員に修了証が交付されました。今までの「KYT」から「安全啓発」へと呼称が変更されましたが、子どもたちの安全能力を高める指導者として、より幅広く理論と演習を学びました。今後、各地域の子ども会での活躍に期待します。



栃木県子ども会ジュニア・リーダー研修会開催

第1回：平成29年10月1日(日)10時～16時

とちぎ青少年センター多目的ホール他

【参加者】

高校生5名、中学生7名、シニアリーダー2名、他8名

【プログラム】

- ①レクリエーション研修
- ②関ブロJ・L千葉大会&各地区の活動報告
- ③ワークショップ「研修会を自分達で作る」



第2回：平成30年1月21日(日)10時～16時

とちぎ青少年センター多目的ホール他

【参加者】

高校生8名、中学生6名、シニアリーダー3名、他12名

【プログラム】

- ①レクリエーション研修(実践編)
- ②レク発表会
- ③研修会の振り返りと感想
- ④思い出交流会





『第51回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会 栃木大会』の開催に向けて

関プロ栃木大会実行委員会
委員長 空子繁通

今秋9月30日(日)から10月1日(月)の両日に渡り、那須りんどう湖口イールホテルを会場に開催される、通称「関プロ」栃木大会は、スローガンを「もっと！輝け育成会!!」、キーワードを「再発見！飛躍につなげよう」と決定し、分科会では「育成会活動の楽しみ方」をテーマとして討議検討する方向で進んでおります。我が県子連では前大会当時にも子ども会活動の中で、特に育成会に着目した大会運営をしましたが、28年度に完成した「子ども会活動のしおり」も含め、今後も一貫した方針で活動を進めていく中で、今大会が新たなターニングポイントになる事を期待しています。せっかくのこの機会に多くの会員が参加し、そこで得た情報を活動に役立てて頂ける事を願っております。

我が県子連では10年前の大会で、数回にわたる研修会を催し多くのファシリテーターを養成し、より意義のある分科会を成功させましたが、ファシリテーターを養成するための研修は実り多い前大会を契機に、係わった多くの仲間がその後の我が県子連の変革と発展の礎となってきたことは皆の認めるところと思います。今大会の成功は無論の事として前大会に習い、今後の県子連に一段と大きくきれいな花を咲かせる種を蒔きたいと考えております。

私は実行委員長として委員会開催当初から、誰からの評価を期待する物でなく、燃え尽き感を感じず、むしろ次の目標に進むためのステップにこの大会を位置付けられるよう人材発掘や、各々のスキルアップを図っていきたく願ってきました。もちろん大きな大会を運営する訳ですから、運営スタッフは勿論参加者にも、それなりの負担は避けられないと思いますが、終わった時に「楽しかったね」と言い合って仲間の絆を深め合えたら素晴らしいと願っています。その様な知見から各地域の皆様の積極的なご協力、会員各位の大会ご参加を心からお願いいたします。

第50回 (平成29年度)

関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会 (神奈川大会)

平成29年10月29日(日)～30日(月) 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ

関プロ地区 10 県から 350 余名の参加を得て、横浜の高層ホテルで盛大に開催されました。
栃木県からは 27 名が参加し、次年度開催県として来年のアピールを全員で行いました。

功労者表彰受賞

伊藤 三良氏 (大田原市)
渡辺 喜保氏 (上三川町)



山上武久関プロ会長から授与される
伊藤三良氏

閉会式にて次年度へ引継ぎ



～ 子ども会活動報告 ～

さくら市 勝山子ども会育成会

開催場所：さくら市南小学校
開催日：平成29年9月2日～3日
参加人数：役員20名 会員100名
テーマ：学年関係なく交流を深める
概要：勝山っ子大集合!! 秋レクをみんなで楽しもう☆
子ども達の声：・紙コプターが高く飛んでよかった。

- ・自分で作ったもので遊べて楽しかった。
- ・うまく飛ばないときに、羽の位置を変えるとよく飛ぶようになってよかった。
- ・傘袋で作った飛行機が遠くまで飛んだので面白かった。

指導者の声：さくら市で一番人数の多い育成会なので、毎年みんなで楽しめるレクリエーションを考えるのが大変です。今年度は科学工作を企画し、みんなで「作ること」と「遊ぶこと」が一緒に出来、楽しく遊べました。1年生から6年生まで男女関係なく楽しく活動出来て良かったです。



さくら市 向河原子ども会育成会

開催場所：向河原公民館
開催日：平成29年10月15日
参加人数：約30名
テーマ：交流会
概要：世代間交流を図る
子ども達の声：皆で食事をしたり、ゲームをしたりして楽しかった。
自分で作ったピザが上手にできて美味しかった。

指導者の声：地区で顔を合わせる程度の方々と子ども達と一緒にゲームやピザ作り等を楽しみ、食事を楽しんでる姿をみて、ほっこりした気持ちになりました。



さくら市 フィオーレ子ども会育成会

開催場所：フィオーレ喜連川地区内
開催日：平成29年10月28日
参加人数：約180名
概要：本場のハロウィンを体験しながら楽しく英語を学ぼう
子ども達の声：・英語が難しかった!!
・もっとたくさんお家をまわりたいかった。
・来年もやりたい。

指導者の声：台風で全てのお家をまわれなかったのですが、子ども達がすごく喜んでくれて良かったです。地域の方も楽しんでいただけたようで、また参加協力してくれると言っていました。



さくら市 大野東子ども会育成会

開催場所：とちのきファミリーランド
開催日：平成29年10月10日
参加人数：56名(小学生：30名、幼児：6名、保護者：20名)
テーマ：みんなで楽しくバス旅行 in ファミリーランド
概要：親子で楽しむ子ども会育成会、一大イベント
子ども達の声：・バスの中でのクイズが楽しかった。
・たくさん乗り物に乗れて良かった
・初めてジェットコースターに乗れてドキドキした。

指導者の声：例年ボーリング大会でしたが、今年とはちのきファミリーランドを企画してみました。今年度初めての企画となり、参加人数や安全対策などの不安もありましたが、みなさん楽しく乗り物に乗ったり、お友達と活動することができました。また、晴天にも恵まれ良い1日を過ごす事が出来ました。



子ども会ワクワクキャンプ

開催場所：栃木県那須少年自然の家
地区：那珂川町青少年育成協会
開催日：平成29年9月26日～27日
参加人数：40名

テーマ：自然活動を通じていろんなことにチャレンジする。
概要：登山を通じて子どもたちがいろんなことにチャレンジし、大人も楽しめる活動。

子ども達の声：・子どもだけで料理を作り、泊るのは難しかったが楽しかった。
・カレー作りが難しかった。
・いろんな遊びを通じて新しい友達ができた。
・いつもはできない登山、キャンプファイヤーなどの集団活動を学べた。
・班長にはじめてなれた。

指導者の声：・普段できない体験ができた。・登山ができて貴重な体験になった。
・JVCがキャンプファイヤーを盛り上げてくれて良かった。



さくら市 馬場北子ども会育成会

開催場所：さくら市ボウリング場・馬場公民館
開催日：平成29年11月25日
参加人数：50名

テーマ：ボウリング&ビンゴ大会
概要：親睦を深めよう

子ども達の声：・ボウリングを初めてやったけど、楽しかったです。
・昨年より上手にボールを投げられた。
・来年も楽しみ。

指導者の声：・今年度の馬場北子ども会育成会は、児童数72名で活動をしてきました。子ども神輿が雷雨で直前に中止になりとても残念でした。ボウリング・ビンゴ大会は毎年恒例で大イベント！これからも毎年続けていきたいです。



小山市 桑地区子ども会育成連絡協議会

開催場所：小山市羽川西小学校グラウンド・体育館地
開催日：平成29年5月28日
参加人数：450名

テーマ：桑地区子ども会レクリエーションフェスティバル
概要：モノづくりやレクリエーションを通じて、子供たちの親睦を深める。地区内の小学生を対象とし、主にモノづくりを中心としたレクリエーションを開催。イベントの最後の参加者全員でのジャンケン大会は、終始好評でした。

子ども達の声：・きれいなアクセサリを作ることができて嬉しかった。
・紙皿のフリスビーを遠くまで飛ばすことができた。
・輪ゴム鉄砲は作るのが難しかったが、丁寧に教えてもらってうまくできた。

指導者の声：・自分の作ったものをそのまま持ち帰ることができるということで、参加した子ども達には大好評で、家族の分も作っていく子どもも見られた。毎年開催されるイベントですが、子供たちを飽きさせないように内容をより良いものにしていくよう今後も検討していきたい。



さくら市 上阿久津子ども会育成会

開催場所：上阿久津公民館
開催日：平成29年12月25日
参加人数：100名

テーマ：冬季レクリエーション上阿久津クリスマス会
概要：歌って踊ってお宝GETだぜ！

1部ママ達の音楽隊どるちえの生演奏 2部ビンゴ大会
子ども達の声：・生演奏のイントロクイズは楽しかった。迫力があってドキドキした。
・「恋」ダンスが流れた。上級生が前に出て踊っていたので私も踊りたくなった。
・ビンゴ大会の商品は毎年ちょっと違う。大きなブーツのお菓子を当てたかった。
・帰りにもらえるお土産、今年は何かな？と、ずっと楽しみにしていました。

指導者の声：・行事の中でも、クリスマス会が一番人気です。塾や習い事で忙しい小学生たちは学校での横の繋がりは強いですが、地域での異年齢で遊ぶ姿を見ることはあまり多くありません。同じ地区の子ども達が異年齢交流しながら集団活動を共に行う育成会行事は子ども達の希望でもあります。クリスマス会では、さくら市の「てまえ学び塾」の制度を利用し、子供たちに生の演奏、本物の楽器に触れ合う体験の共有の場として取り組んでいます。



平成29年度 子ども会リーダー養成研修会

開催場所：下野市大松山運動公園（ピクニック広場等）
地区：下野市石橋地区子ども会育成連絡協議会
開催日：平成29年7月29日～30日
参加人数：34名
テーマ：子ども会のリーダーの養成
概要：小学校5年生を対象として、緑あふれる大松山公園内においてキャンプを実施し、集団生活を学ぶ

子ども達の声：研修に参加した子どもたちの多くは、キャンプを経験したことのない子どもたちであったことから、初めてのテント設営やテント内での生活等の共同生活は学校では体験できない貴重な経験であったなどの声が多かったことや、研修で出会った新しい友だちと協力しながら、食事作りやウォークラリー等を通じて、チームプレーや団結力の大切さを改めて学ぶことができ、充実した研修であったなどの感想をいただいた。

指導者の声：本研修会を通じ、子どもたちが仲間と協力しながら、テントの設営や食事の準備において、自分たちがやるべきことやその方法を模索し、率先して行動に移す様子を伺えるなど、今後の集団生活に必要な貴重な体験を提供することができた。また、指導者にとっても、準備等含め地元の方々との協力しながら取り組むなど、地域の絆作りにつながる大変有意義なものであった。



球技大会

開催場所：宇都宮市立峰小学校校庭
地区：宇都宮市 峰地区青少年育成会子ども部
開催日：平成29年5月14日（日）
参加人数：約300名
テーマ：子ども会員の協力性と健康を増進し、会員の協力と連携を育て、他の子ども会との交流と親睦を図る。

概要：1～3年生：ジャンプボール：トーナメント
4～6年生：ドッジボール：トーナメント

子ども達の声：ジャンプボール：ボールが2つくるので、逃げるのが大変だが楽しかった。決勝戦で負けてしまいやすかった。
ドッジボール：今年で最後なので、一生けんめい戦った。優勝したかったが残念だった。

指導者の声：毎年うれし涙あり、くやし涙ありの感動的な行事である。今年は土曜日が雨のため順延となった。参加できない子どもも多く他チームから急遽人員を補充し、試合を成立させた。例年保護者の方が熱くなり、補充による不満も出たようだ。今年度の反省とともに、雨の場合順延せず、他のことを行うなどの検討も必要である。



サイクリング&アウトドアクッキング

開催場所：鬼怒川サイクリングロード・鬼怒川緑地公園バーベキュー場
地区：宇都宮市 峰地区青少年育成会
開催日：平成29年9月30日（土）
参加人数：4・6年11名・ULC 3名・指導者・12名
テーマ：安全に注意してサイクリングを楽しみ、野外炊飯や遊びを通しての仲間作り
概要：峰小学校・バーベキュー場間の往復のサイクリング。火起こし体験（まいぎり式）・野外炊飯・草すべりやULCとの集団遊び。
8時30分開場：15時30分解散

子ども達の声：・自転車で土手を走り、気持ちよかった。・なかなか火が起きず大変だった。・焼き芋が焦げてしまわないか心配したが、大成功だった。・カレーはおいしくできて良かった。アルミ缶で炊いたご飯がおいしくびっくりした。・みんなで一緒に遊んで楽しかった。

指導者の声：動植物を上手に見つけたり、川に向かって石を投げるだけの単純な事にも熱中できるのは、自然の中での遊びだからだと思う。街中を自転車で連なって走るので、安全には十分配慮したりと気を使うが、続けていきたい活動である。火起こし体験は大人の方が熱くなっていた。



宿泊研修

開催場所：埴原溪谷遊歩道やしおコース・国立那須甲子青少年自然の家
地区：宇都宮市 峰地区青少年育成会子ども部
開催日：平成29年7月8日（土）から9日（日）まで
参加人数：5・6年46名・ULC 3名・指導者14名
テーマ：大自然とのふれあいと仲間作り
概要：8日：（峰小学校7時50分発）ハイキング9時30分～（12時昼食）
移動（14時30分自然の家着）キャンプファイヤー19時～
9日：野外炊飯9時～（12時昼食・片付け）集団遊び（自然の家14時発）（峰小学校16時着）

子ども達の声：・滝を見ながら山を歩き大自然を体験する事が出来た。
・キャンプファイヤーはみんなでどったり歌ったりしてたのしかった。
・野外炊飯は火をおこすのに苦労したが、おいしいカレーが食べられてよかった。
・友達といっしょに過ごした宿泊研修は楽しい思い出になりました。

指導者の声：今回の体験が子どもたちの良い思い出となり、これからの人生の中で少しでも役に立つ事があれば嬉しい。
皆で過ごした2日間は、私たちにとても良い思い出となった。
下見は最低でも2度は行くが、当日の天候により計画は微調整が必要となる。



子どもフェスティバル

開催場所：栃木市寺尾公民館
地区：栃木市 寺尾地区子ども会育成会連絡協議会
開催日：平成29年8月5日
参加人数：119名
テーマ：絆を深め、夏の日を楽しく過ごす。
概要：中学生の代表（子ども会長）が中心となって企画・運営をした。
子ども達の声：全部のゲームをみんな楽しんでた。
中学生を中心に素早く行動できた。
自分達（子ども会長）が選んだ景品を受け取った子どもたちが喜んでくれて嬉しかった。
子ども会長同士で協力して取り組めた。
ゴミなどの散らかりが無く、他の人達に迷惑をかけずに出来た事。

指導者の声：子ども会長がそれぞれしっかり仕事をし、小中学生みんなが楽しめた。
子ども会長達が上手に司会、進行していて、小学生のよい手本になっていた。
ゲームとゲームの間、待ち時間が長いのでは？と思ったが、地域の方とのふれあいの時間が有り、良かった。



子どもフェスティバル

開催場所：栃木市大平公民館
地区：栃木市大平子ども会育成会
開催日：平成29年10月22日
参加人数：262名
テーマ：子どもたちの発想と自主性
概要：中・高生のジュニアリーダーと育成会から推薦された28名の実行委員の子ども達自らが参加型のゲームをメインに企画運営し、毎年各育成会から幼児の親子参加をはじめ、小学生が多数参加する一大イベントです。
今年は台風の影響で室内での開催になりました。

子ども達の声：自分達が企画をして、それをどういふふうによれば参加してくれる人たちが楽しんでくれるか考えていくのはとても大変でした。でも、参加してくれた人達から楽しかったという声が聞こえたので、とてもうれしかったです。
最後に、ボランティアの方々で作ってくれたカレーをみんなで食べて、表彰式をしました。

指導者の声：子ども達の“やりたいこと”の要望をかなえるのはなかなか難しいものですが、きちんと話しを聞き、ヒントを与えていくと様々な意見が出て、子ども達の未知の能力と可能性を感じました。
3回の事前研修と当日のフェスティバルをやり遂げた子ども達の顔は、自信に満ち溢れていました。



足利っ子 凧あげフェスティバル

開催場所：渡良瀬川運動公園

地区：足利市青少年育成会 山前地区（足利西中学校）

開催日：平成29年2月5日（日）

参加人数：332名（子供228名，大人104名）スタッフ（60名）

概要：足利市育成会連絡協議会と足利地区ライオンズクラブが主催する足利市内の育成会・小学校・中学校を対象に子どもたちが手作りした、2m×1.5m以上の大きさの凧，30枚以上連なる連凧を大凧とする凧あげ大会に山前地区育成会と足利市立西中学校で参加しました。

子ども達の声：【連凧で参加した、山前地区育成会】

- ・寒かったけど自分たちが作った凧が上がって良かった。
- ・お友達と凧上げが出来て楽しかった。
- ・竹ひごとビニールで造った凧が上がるか心配したけど上がって嬉しかった。

【大凧で参加した、西中学校】

- ・育成会の指導で大凧を作りましたが、バランスを取るのが難しかった。
- ・美術部の協力でデザイン賞がとれたけどもっと高く上げたかった。

指導者の声：山前地区育成会では、児童700人が在学している山前小学校の子どもたちが一人でも多く参加して、凧あげを楽しんで貰うため参加者一人一人が作成する連凧で参加することにしました。

- ・足利市立西中学校の生徒会を中心に運動部の力・美術部の知識を集約して、大凧を作成して参加しました。
- ・子どもたち一人ひとりが持っている技術や知識にヒントを与えることで大きな目的が達成できることを指導できました。



関プロ主催の 『子ども会安全啓発指導者中級講習会』

平成30年1月13日（土）～14日（日）の一泊二日で東京オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催されました。栃木県子連からは、上級指導者を取得している兵藤一成、原田忠、加藤富男、大橋康徳の四名が講師として、参加しました。



『益子町3中学校サミット・リーダー研修会』

平成30年1月27日（土）～28日（日）に芳賀青年の家を会場に益子町教育委員会が主催する研修が行われ、二日目は栃木県子連からの講師派遣により指導委員の兵藤一成さん、村上祥子さんによる安全啓発トレーニング、ユース・リーダーの玉川彰宏さん、柏田苑佳さんによるレクリエーション研修を行いました。



県子連&安全共済会の Q&A コーナー

Q1 子ども会行事中にケガを負い通院中ですが、市の助成により窓口の支払いがありません。領収書がないのですが、この場合も共済金はもらえますか？

A1 はい、保険診療の点数が明示されている「診療明細書」を医療機関で出してくれるので、それを提出してください。

Q2 県外から転入してきた方がいます。旧住所で安全共済会に加入していたと云っていますが、この場合、県子連会費のみを徴収するのですか？

A2 変更届を提出してください。当県子連で旧住所の県子連に連絡をし、掛金を支払ったことが確認できれば集金は必要ありません。県子連会費も徴収しません。ただし、事業奨励金の計算対象にもなりません。

Q3 子ども会のバス旅行で交通事故に遭った場合、共済金は出ますか？

A3 交通事故によるケガは出ません。交通事故以外の原因によるケガは対象となります。

【発行】一般社団法人 栃木県子ども会連合会 〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内
TEL.028-621-1154 FAX.028-621-1124 E-mail:tochigikenkoren@ia1.itkeeper.ne.jp
ホームページ：http://tochigikenkoren.or.jp/

【発行責任者】会長 内藤 進